

## 2022 年度実施概要

学校名

阪南市立下荘小学校

採択活動名

地域に根ざした海洋教育

実施単元

単元名（時間）	学年	教科
1. 海の生き物に出会おう（21）	1	国語 生活 図画工作 道徳
2. しぜんからのおくりもので（12）	2	国語 生活 図画工作
3. つながろう！つなげよう！私たちと里海（10）	3	国語 社会 理科 総合 図画工作 道徳
4. 里海の秘密を探そう！！（6）	4	国語 社会 理科 総合
5. わたしたちの里海を守ろう（25）	5	国語 社会 理科 総合 家庭科
6. 海洋ごみをゼロにしよう（10）	6	国語 理科 総合 道徳

取り組みの概要

本年度も、全学年において海洋教育に取り組み、海洋教育実践校と連携・交流し、地域の下荘漁業協同組合、岸和田資料館、NPO 法人大阪湾沿岸域環境創造研究センターと協働して取り組みを実施した。

第1学年（国語、生活、図画工作、道徳）

- ①校区の里海で、海の美しさを知り、海辺観察と生き物観察をして、海に親しむ。
- ②季節による植物や動物の変化に気づき、見つける。
- ③夏の海をテーマに絵を描く。
- ④里海の自然海岸で拾った石に海に関する絵を描く。
- ⑤地引網体験をして、海に生き物を実際に観察し、触れる。【写真1】

第2学年（国語 生活 図画工作）

- ①校区の里海で、海の美しさを知り、海辺観察と生き物観察をして、海に親しむ。各テーマで模造紙にまとめる。【写真2】
- ②季節による植物や動物の変化に気づき、見つける。
- ③里海に生きるカニを自分で捕まえ、じっくり観察し、絵を描く。
- ④里海の自然海岸で拾った石の形に注目し、石ころアートをつくる。

第3学年（国語 社会、理科、総合 図画工作 道徳）

- ①里海の生き物を見つけ、観察する。外部講師の方から大阪湾の自然海岸の実態を聞く。
- ②里海の海岸で石を拾い、形を生かした石ころアートをする。
- ③下荘漁業の方に協力を得て、漁港の仕事内容や大阪湾での漁の仕方などを聞き書きする。
- ④岸和田資料館の方から、大阪湾でよく獲れる魚や特徴ある魚などの話を聞く。チリメンモンスター探し

を行う。

- ⑤里海の海草で押し葉作りを行い、海草のつくりや役割に興味をもつ。

第4学年（国語、社会、理科、図画工作、総合的な学習の時間）

- ①社会科「下水のゆくえ」「浄水場のしくみ」を学習し、生活排水のゆくえを調べる。
- ②里海の生き物を見つけ、観察する。外部講師の方から大阪湾の自然海岸の実態を聞く。
- ③岸和田資料館の方から、大阪湾でよく獲れる魚や特徴ある魚などの話を聞く。チリメンモンスター探しを行い、稚魚観察をする。
- ④海藻押し葉作りを行い、海藻のつくりや役割に興味をもつ。【写真4】

第5学年（国語、社会、理科、図画工作、家庭科、総合的な学習の時間）

- ①理科「ものが燃えるしくみ」「植物のつくりとはたらき」「生物どうしのつながり」で空気中の気体の成分や役割を知り、酸素をつくるものは植物であり、アマモやワカメを育てる意義を再確認する。水は、空・森・川・海を循環しており、地球環境全体をとらえ、考えていくようにする。
- ②アマモについての聞き取り学習（5月）
- ・地域で活動している NPO 法人の外部講師から大阪湾のアマモについて学習する。
  - ・アマモの特徴、生態、生育場所、アマモの群落が様々な生物が棲む一種の魚礁としての役割があること、アマモ場の面積減少には人間の経済活動による水質悪化などが大きく関わることを知る。
- ③生き物観察（6月）
- ・前年度に活動して育てたアマモの苗を海に植える。
  - ・生き物観察を行う。
  - ・海岸の清掃活動をする。
- ④アマモの生態や役割などについて調べる。（7月）
- ・アマモの生態やアマモ場の機能、再生技術などについて調べる。
  - ・海洋プラスチックごみによる被害や環境に優しい取り組みなどについて調べる。
  - ・アマモの種子選別をする。（9月）
- ⑤水産技術センターでの学習（10月）
- ・大阪湾の環境の保全・改善を研究していることや大阪湾の豊かな環境を守るために行っている稚魚の育成や放流等について学習する。
  - ・社会科で学習している栽培漁業について、現場で働いている方から聞き書きを行う。
- ⑥アマモの苗を育てる（11月）
- ・アマモの種を土に植える。育成キットでアマモを発芽させ、アマモの苗の生長をタブレットで観察・記録する。
- ⑦アマモ育成に取り組む他府県の様子、アマモやワカメの役割、地球温暖化の原因や仕組み、海洋プラスチックごみを減らす方法を知り、各自、さらに興味を持ったことについて調べ学習をして分かったことをまとめる。（11～12月）
- ⑧ソフトバンクペッパーによる「海洋のゴミ問題」の出前授業を実施する。（11月）
- ⑨ワカメの種付け（12月）
- ・下荘漁協と連携し、ワカメの種糸付けをする。
  - ・海藻の役割や種類について学習し、テーマごとに模造紙にまとめる。

- ⑩黒潮実験センター神田先生「里・海・川のつながり」をオンラインで実施する。(2月)
- ⑪ワカメの収穫(3月)
- ・ワカメの総重量を計測し、海中の二酸化炭素吸収量を知り、ワカメの役割を再確認する。
  - ・ワカメを収穫し各家庭で調理して食べることで、陸と海との栄養や生命の循環を学ぶ。
  - ・塩蔵ワカメの作り方を学び、養殖から加工までの一連のつながりを体験し、海を地域産業とのつながりを学ぶ。
- ⑫5校海洋教育実践報告会(3月)
- ・今までの活動をテーマごとにまとめる。
  - ・4年生にプレ発表をして、よりよいものにする。
  - ・西鳥取小、舞小、尾崎小、上荘小と連携し、タブレットを活用した学習活動報告をする。
- ⑬自分たちができることを考える(海岸の清掃活動、アマモや海藻の役割を発表する等)。
- ・次の学年に引き継ぐ準備をする。

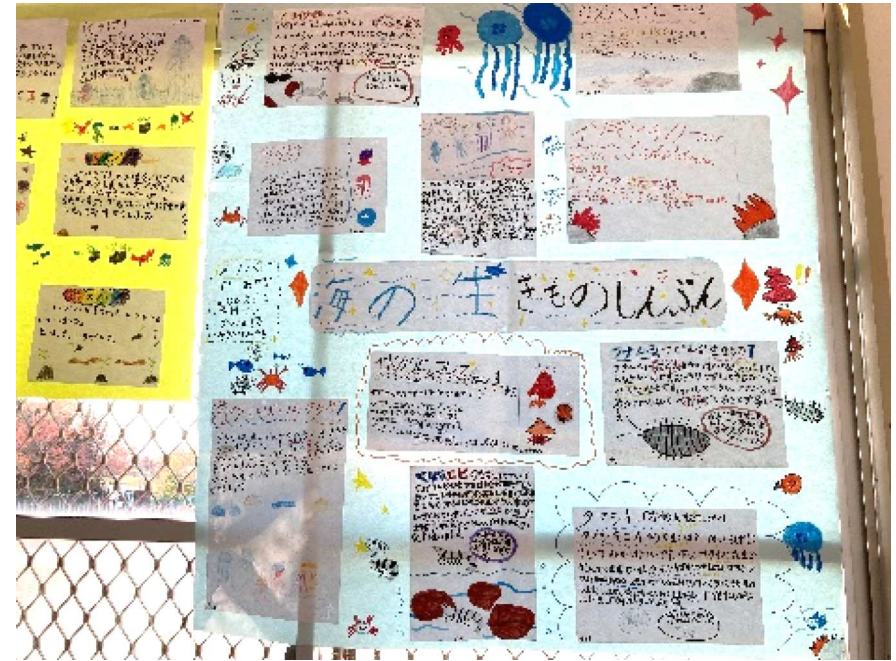
#### 第6学年(国語、理科、総合的な学習の時間)

- ①理科「空気中の気体」気体の成分を知り、二酸化炭素のはたらきや地球温暖化のしくみを学習する。
- ②理科「生き物のつながり」動植物プランクトンを顕微鏡で観察し、体のつくりやはたらきを学習する。
- ③海洋ごみについて、調べ学習をする。里海の海岸清掃をして、ゴミ調査をする。
- ④ソフトバンクペッパーによる「海洋のゴミ問題」の出前授業を実施する。(11月)
- ⑤黒潮実験センター神田先生「里・海・川のつながり」をオンラインで実施する。(2月)





【写真1】 1年生地引網体験



【写真2】 2年生 生き物新聞



【写真3】 3年生 下荘漁港での聞き書き



【写真4】 4年生 海藻押し葉づくり





【写真5】 5年生 アマモの種子選別



【写真6】 6年生 海岸清掃後のゴミ調査